

◎基本情報

事務事業名	がん検診事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系			根拠法令計画など	がん対策基本法、健康増進法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 57年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	がん検診の受診率向上を図り、がんの早期発見・早期治療につなげる														
事業計画	28年度に何を計画していたか	①新たなステージに入った総合支援事業の中で受診意向調査を実施。かかりつけ医を通じて行う受診勧奨としてリーフレットの作成・配布。 ②子宮がん・乳がん無料クーポン券については継続して実施。 ③商工会議所・銀行・郵便局などに受診勧奨用のリーフレットを設置。 ④特定健診とがん検診の同日実施。 ⑤中学生を対象にピロリ菌検査を実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各がん検診受診率の平均</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	各がん検診受診率の平均	10	10	10	10	10	%
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
各がん検診受診率の平均	10	10	10	10	10	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①40歳～60歳の節目年齢を対象に受診意向調査を送付し、受診状況や意識を把握し、市のがん検診受診希望者には問診票等を送付し、受診を促した。②受診勧奨用のリーフレットはかかりつけ医やかかりつけ薬剤師から配布、市民がよく行く店舗や銀行、郵便局には利用者に配布するなど周知啓発を行った。③子宮がん・乳がん検診は20歳・40歳の新規対象者と過去に子宮・乳がん検診を受診していない対象者に無料クーポン券を送付し、未受診者には再度、受診勧奨(個人通知)を行った。④特定健診とがん検診を同日実施し、受診率の向上に努めた。⑤中学校養護教諭の協力のもと、中学2・3年生を対象に尿中ピロリ菌検査を実施し、保護者にも胃がん検診の受診勧奨を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 がん検診受診者数(計)	4,670	3,734	4,000	4000	4,100	人
	2 乳がん検診の受診者数	909	872	900	900	1,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	各がん検診受診率の平均	8.46	7.20	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		72.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		152	0	0	472	29,376	30,000
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		152	0	0	472	29,376	30,000
		決算額		1,111	0	0	377	17,414	18,902
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費			
		1.7	0.1	12,330	31,232				

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	22,559	18,902	22,000	22,000	22,000
	うち一般財源	20,776	17,414	21,313	21,313	21,313
	人件費	11,867	12,330	11,867	11,867	11,867
	総事業費	34,426	31,232	33,867	33,867	33,867

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		がん検診により、早期がん等の発見があり有効と考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		保険課と連携し、特定健診とがん検診を同日実施したり、特定健診とがん検診の周知を一緒に行うなど概ね効率的だったと考える。
②成果に対する評価	指標名	各がん検診受診率の平均		すべてのがん検診において、昨年より受診率が下がっており、目標値には届かなかった。
	目標	10	%	
	実績	7	%	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		受診率は下がっているが、ほぼ横ばいの状態である。それぞれの検診において早期がんの発見があり、概ね有効であったと考えB評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	大腸がんの無料クーポン券の廃止や胃がん検診の隔年受診の開始があり、さまざまな取り組みは実施しているものの受診者数は減り、受診率も下がっている。保険課や商工会議所等とも引き続き、連携をとりながら、さらなる周知啓発が必要と考える。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業に基づき、子宮がん・乳がん検診クーポン券の配布、受診勧奨の個別通知、受診勧奨用のリーフレットの作成・配布を実施。特定健診とがん検診の同日実施は継続して実施していく。胃がん検診については、X線・内視鏡・ABC検診と様々な検診を実施しているが集団での利用希望者の減少を考えると、平成30年度の集団がん検診の実施回数等について改善・見直しが必要と考える。中学生のピロリ菌検査については対象を中学2年生とし、平成28年度に結果が陽性であった方に、二次検査及び除菌治療を実施する。			
	H30年度	平成29年度の取り組みを継続して実施。			